

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	42	定時誘導時に失禁していることが多い。	適時なトイレ誘導を行い失禁回数を減らしていく。	排泄表の見直しや、誘導時間を変更してみた結果を職員で共有し、随時その方に合った時間に誘導を行えるよう検討、試行していく。	12ヶ月
2	48	感染予防や体力低下で外出や散歩の機会が減っている。	外出や散歩の機会を増やす。	感染状況を見ながら少人数でのドライブや施設周辺の散歩を行う機会を持つ。	12ヶ月
3	39	食事が減っている利用者がある	好きなものを食べる機会を持つ。	月1回のバイキング食の他に、行事食を取り入れて食事を増やしていく。嗜好調査を行い、希望の多い食事やおやつを提供する機会を持つ。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。